

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		はびたむkids		公表日		令和7年 4月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	課題によって椅子やマット等の配置を変えながら取り組んでいます。	大きな遊具の出し入れが大変なので、常に置いておけるようなプレイルームが別にあると良い。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	利用者様の状態が重い時、一対一の療育を心がけているが、シフト上無理な時もある。スタッフが急遽休みの時は出来るだけ、別なスタッフにお願いし、出勤して頂いています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	段差があり注意が必要な場所があるが、児童に合わせて危険のない様子に見守り・補助をしています。	建物の構造上どうしてもバリアフリーにできない所に関しては、マットの色を変えたりし段差がある事の目印をつけます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	療育後使用した物は消毒を行い、健康に過ごしていただけるよう配慮しております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	個別の部屋や場所の配置等難しいので、空間の中で仕切りをして対応するなどしております。	簡易的な個室テントの活用をします。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	2	災害訓練時は、色々な案を出し、必ず振り返りを行っているが、業務に関しては、目標は出来ているが振り返りがありません。	業務に対しての簡単なシートの作成をし、振り返りが出来るような仕組み作りをします。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	自己評価以外でも療育等に関するアンケートを実施しています。	懇談会時に発表しているので、全保護者様に伝えきれていない。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	スタッフミーティングを開き意見の交換をし業務改善を行っております。	改善した結果の振り返りが出来るような仕組みづくりをしていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1		個々の研修ではなく全体で出来る研修が出来るようにしていきます。全体で受けられる研修を増やし意識を高めて質をあげられるようにしたい	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	経過処置の段階で制作し、すでに公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	定期的にニーズを聞き、職員間で話し合いの基、計画を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	スタッフミーティングを開き意見の交換をし共通理解を得て検討しております。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	月に1度周知する時間等設けて定着出来るようにしています。	少人数のミーティングになってもいい、全体に周知出来るように仕組みづくりをしていきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	フォーマルなアセスメントは事業所では行っていないが保護者様が医療機関等受診の際の結果表をいただき活用しています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	ガイドラインにより求められている事項はすべて検討し保護者様からの要望や利用者様の状況に応じて関係機関との連携を図りながら支援内容を設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	児童発達支援管理責任者が中心となって意見を出し合い最適なプログラムとなるように計画しております。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	児童発達支援管理責任者と担当職員が固定化しないようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	利用者様と保護者様の希望など傾聴し、必要に応じて臨機応変に対応しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	連絡事項はメール等活用し全スタッフがわかるようにしています。新しいスタッフ等いる日は特に密に周知しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	メールを活用し共有し日を改めて共有しています。	シフトにより難しいことがある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	支援計画をかみ砕いたものを記録して継続なのか達成なのかを記入しています	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1	定期的に行っており、ご利用者様、保護者様のご意見や職員の意見を反映して次の計画書作成に活かしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	関係機関等の会議に参加している者は児童発達支援管理責任者と管理者になります。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	支援内容の情報の共有相互の理解、統括した支援を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	個人情報保護を意識しながら情報の共有を関係機関と行い継続的な統一した支援が行われるように取り組んでいます。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	2		地域の児童発達センターと連携をするようにつとめます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	6		地域の中で他の子どもと活動する機会に関しては、保護者様の意向を聞きながら進めています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	連絡帳や送迎時のご報告で利用者様の様子や活動内容をお伝えしています。LINEを活用しその日の状況など写真をつけて報告しています。	その日の活動報告が、次の日になってしまうことがある。出来る限りご利用日に報告ができるように進めています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	懇談会時、先輩保護者様に質問したり、意見を聞いたりする場を設けております。	保護者様と一緒に研修は出来ていないので研修が出来る体制づくりをしています。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時や書類変更時は、丁寧に説明しています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	定期的にモニタリングを行い保護者様には意見を聞き、確認して支援計画を作成しています。	意思疎通の難しい利用者様には出来ていなく保護者様の意見のみとなっている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	支援内容の説明を行い保護者様からの意見があった場合はすぐ変更して同意も得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	悩み等に対する相談は常に対応しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	懇談会を開催していて、保護者様同士が交流する機会を設けています。	全保護者様の参加が難しいので定期的に行うようにする。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	相談や申し入れがあった場合は迅速に対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	利用者様の状況をSNSを使って発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	伏字の徹底。メモでも扱いには慎重にしています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	絵カード・ジェスチャー・選択制を活用しコミュニケーションを図っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4		地域との交流は保護者様の意見を聞きながら行いたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		全保護者様に周知出来ていない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	毎月色々な災害を想定して行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	保護者様に薬錠をもらい、薬の効果や副作用時の対応など、職員間で把握しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	保護者様にアセスメントシートを記入していただき、把握をしている。緊急連絡表にもアレルギーの記載をして、なにかあった際、すぐ答えられるようにしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	委員会を開き話し合いをし机上訓練などを行っています。	全職員に研修は行っていない。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	訓練を実行した際、連絡帳に取り組みの内容や、利用者様の状況を記入してお伝えしています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハット記入と同時に、個人情報に気を付け全職員に、内容をメールにて送り、迅速な再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	毎年職員全員に虐待防止アンケートを記入してもらい、アンケート結果を共有し、意見交換をして虐待防止に努めています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	1		身体拘束していないので支援計画に記載はありません。